

# 北斗市地域公共交通活性化協議会

平成30年10月11日設置



## 概要

北斗市は、2つの自治体が合併したまちであることから、市街地が分散しており、また、函館市のベッドタウンとして郊外型の宅地開発が行われてきたことから、地域住民は自家用車への依存度が高い。また、函館市を中心に放射線状に公共交通が運行しているものの、函館から離れるにつれて交通空白地が広がっているため、公共交通に対する市民ニーズは地域により大きく異なっている現状である。また、市内には複数の公共交通のほか、様々な輸送資源が競合している現状にあることから、市内を運行する全ての輸送資源を整理し、今後の市の公共交通のマスタープランとなる地域公共交通計画を作成する必要がある。

### ○地域公共交通の現況

- ・北海道新幹線、JR函館本線（新函館北斗駅）
- ・道南いさりび鉄道線（市内7駅）
- ・函館バス(株)（市内23路線）
- ・(株)新星ハイヤー

### ○地域公共交通の課題

- ・自家用車への依存度が高く、さらに人口減少が進行していることに伴う地域公共交通の利用低迷
- ・持続可能な地域公共交通手段の確保
- ・市民の地域公共交通に対する意識醸成や利用促進策の検討

### ○調査の主な内容

- ・北斗市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出
- ・市民等の移動実態及びニーズ把握
- ・北斗市地域公共交通計画案とりまとめ
- ・協議会開催

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・令和2年8月26日 第4回協議会開催  
調査事業の実施概要 説明
- ・令和2年12月16日 第5回協議会開催  
計画の構成、調査事業の実施状況、現状と課題 説明



# 北斗市地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【事業内容】

- ・北斗市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出
- ・北斗市地域公共交通計画案とりまとめ
- ・市民等の移動実態及びニーズ把握
- ・協議会開催

### 【結果概要】

- ・基礎的データ及び現況調査により、北斗市及び北斗市内公共交通等の現状を整理できた。なお、全ての輸送資源を総動員するという考えのもと、交通事業者のみならず、企業送迎バス運行事業者、買い物支援サービス事業者、学校関係者、福祉有償運送事業者にもヒアリングを実施し、現状把握を行った。
- ・住民アンケート及び地域ヒアリングを実施し、年齢・性別など属性ごとに利用者の移動実態や利用目的、他の交通手段への乗り継ぎ、必要とされるサービス等並びに新たな交通モードの検討に向けたニーズが把握できた。(アンケート対象者:市民500人(回答234人)及び高齢者運転免許返納支援事業対象者311人(回答198人)、地域ヒアリング:5箇所・参加者35人)
- ・今後、上記調査結果をもとに協議会の場で計画の詳細を検討した後、2月下旬に計画案を市に答申する。その後、市のパブリックコメントを経て、4月上旬に地域公共交通計画を決定する。

## ●事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

## ●地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針

- ・既存公共交通の利便性の向上
  - ・函館市内とのアクセス強化
  - ・地区の実情や利用者ニーズに対応した市内公共交通サービスの提供
  - ・分かりやすい公共交通サービスの提供
  - ・潜在需要の掘り起こし
  - ・公共交通の維持・存続に向けた市民の意識啓発
- ※新たな交通モードの運行にあたっては、地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込む。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄